

本日、大塚製薬株式会社と、市民サービスの向上と地域の活性化を推進するため、相互に連携して協力することを定めた包括協定を締結いたしました。

本市では現在、第五次総合計画に掲げる「仕事づくり」「暮らしづくり」「人づくり」「活力づくり」及び「安心づくり」の5つの柱に基づき、各種施策に取り組んでいます。

中でも、「安心づくり」では、医療・福祉・介護に至るまで、様々な担い手が連携し、だれもが地域でつながり支えあう環境を形成するとともに、安心して子供を産み育てられる環境づくりを進めることで、誰もが幸せを実感でき、住みたくなるようなまちを目指しています。

そのような中、同社は、「世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する」という企業理念のもと、「疾病の治癒」から「日々の健康増進」まで、同社が培った幅広いノウハウを活用し、全国各地で企業の枠を超えた協働により、地域住民の社会課題解決につながる活動を行ってこられました。

本市といたしましては、今回の締結を機に、特に健康づくりや食育の推進、また災害支援やスポーツ振興などの分野において、同社からの様々なご支援に期待するとともに、両者がともに歩みを進め、市民の皆様の健康寿命の延伸、生涯現役社会の実現を目指してまいりたいと考えております。

令和3年8月31日

東広島市長 高 垣 廣 徳